

新しい年度が始まって、早くも1ヶ月が経ちました。生徒達も新しいクラスや学年に慣れてきた頃でしょうか。クラスの様子や仲間との会話をご家庭での話題にされる機会に、教科の授業や道徳の時間の話題にも触れていただき、今年度も道徳通信を発行したいと思います。読んでいただき、感想や意見も忌憚なくお聞かせください。

4月の最初の道徳の時間は、クラスも始まったばかりということもあり、1年間の生活の目標を考えたり、班で楽しくどんなクラスにしていきたいかという内容のものでした。

～1年生～

5月に行われる福祉体験学習に向けて、星野富弘氏の事故のいきさつとその後の生き方を紹介しました。体育教師として健康に仕事をしていた主人公ですが、ある日器械体操をして着地に失敗し首から下が動かなくなってしまう。体が動かなくなったからといって、口には絵筆をくわえて絵を描くことを身につけた富弘氏。その絵は、見る人の心を感動させる素晴らしい作品です。彼の生き方から生徒達は何を学んだのでしょうか。教師からの質問に答えた文を読んで、その学びが感じられます。

(生徒の感想文、意見)

教師からの質問「なぜ星野さんは絵を描き続けるのか？」

- ・自分と同じような人達に勇気とか夢を与えるため。
自分が夢中になれることを見つけるため。
- ・みんなに体育の思いを伝える事ができない。だからその代わりに絵でなら自分の気持ちを伝えられると考えたから、体がわるくなくても絵を描き続けられると思う。
- ・器械体操ができないし、自分のできる事はみんなに絵と詩を届けることだと思ったからだと思います。この詩は、みんなの心に感動を与えるしだと私は思います。
- ・絵を描いているときだけ醜いことを考えずにすむから描いていたと思う。

あなたが星野さんの側にいたら、どんな事を言ったりしたりしたいですか？

・色々な花があるから、その花を持って行ってあげたい。絵を描く道具を渡したい。

・ずっと絵を描き続けて欲しい。星野さんの絵はすごいやされる。あざやかでとてもきれいな絵ばかりあるからいいと思った。星野さんの絵で元気をもらう人が絶対いるから。

～2年生～

「人生で大切なもの」：テーマ・・・高い目標

(あらすじ)

“生きていく上で大切だと思うもの”を挙げていきます。水や空気、食べ物やお金、家族や友達などを挙げていきました。次に“人生で大切だと思うもの”を挙げます。すると生徒達は、物質的なものより精神的なもの、例えば“友情、家族、思いやり、物感情”などを挙げました。これらのものを他の言葉で置きかえて説明してくださいと投げかけると、生徒それぞれが一生懸命考えた自分の言葉のイメージや意味を言いました。人生で大切なものとして同じ言葉を挙げていく仲間も、自分独自のイメージや感性でとらえていると、今まで持っていた意見の違う仲間が、今更なる意見の一致を見出しているように思います。

(生徒感想文)

- ・大切だと思う物：前進する心(夢・感情・個性)
前進する心が大切だと思う。立ち止まっても、時間が過ぎていくばかりで、前進すれば人生楽しみながら、人間らしく生きていけるし、誰でも必ず幸せが来ると思うから。
- ・大切だと思う物：言葉
自分が人としての気持ちを直した。人としてどう生きていけばいいか、大切な物は何かなど、事柄について深く考えられた。言葉(手話なども含む)は大切だと思う。言葉がなければ、友達にもなれないし、人とのつながりが持てないし、言葉があるから人と人とがつながっていると思う。
- ・大切だと思うもの：ずっと一緒にいれる友達
私は、生きていく中で友達は絶対に必要だと思いました。楽しく毎日を過ごすために優しさや言葉も大切にすべきだと思います。でも、周りの人は自分と違う意見の人もいたので、人の意見をしっかりと聞くことも大切だと思いました。

～3年生～

「道は いつもひらかれている」：テーマ・・・やり抜く強い意志

(あらすじ)

古谷綱武氏の詩「道は いつもひらかれている」を読み、3年生という人生の進路選択をひかえ、自分が人生の目標に向けてどのような思いや意識で歩んでいけばよいのかを考えました。詩の1節、1節を味わいながら、自分が気に入った節や自分の心に響いた節を取り上げ、なぜ自分は気に入ったのか、どうして心に響いたのかを考えました。文章に理由を書いているうちに、自分が人生の中でどういった生き方を求めているのかが整理されていくのを感じた生徒もいるのではないかと思います。

是非、道徳の副読本をご家庭でも一読してみてください。

(生徒感想文：「自分の気に入った節」と「理由」)

- ・「道が閉ざされていると思う人の道は閉ざされている。自分はだめだと思う人はだめになっていく。」気持ちの持ちようで人生は変えられるって励まされた気がした。私は常にネガティブだから、いつも“自分はだめなやつだな”って思う。それでやる気がなくなってしまう。だから、この言葉には救われた気がした。
- ・「生き甲斐と幸せとをつかみあてるその鍵は、自分の心の姿勢の中にだけしかない」生きる目標を持ちたいんやったら自分が探さなあかんし、幸せになりたいんやったら幸せにしたりたいって思われるような人にならなあかんし、人間みんな何かされたいんやったら、まず自分が周りに対してしなあかんねんって思った。
- ・「人が1度でやりとげることが自分には1度ではやりとげられないこともある。1度でやりとげられないことは、十度やってみよう。十度やってもやりとげられないことは百度やってみよう。」失敗は、百もやればできと思うし、これは部活も一緒でできなかったら、10回でも100回でもやったらいいと思うし、この節を胸に秘めて夏の大会頑張りたいです。
- ・「自分にとってのいちばんやさしい道しか歩こうとしない人もいる。」目標へ続いている道は難しい。なんとなく生きていたら、やさしい道、楽な方にしか進まない。年とか関係なく、自分のレベルとか関係なく、しっかりと目標に向かって進む。逃げて甘えても何も変わらない。苦しい方に向かっている。今の自分、勉強や部活でそうしていきたいから。